

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

危機管理室

補助金等の名称 佐倉市自主防災組織活動助成金

予算科目 一般会計 款 2 項 1 目 12

予算事業名 自主防災組織支援事業

実施計画の位置づけ 災害時の総合的な支援体制を確立いたします。

補助金分類

国県補助の状況 国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし

交付先 自主防災組織

支出根拠規定 佐倉市災害対策条例、佐倉市災害予防対策事業補助金等交付規則、佐倉市自主防災組織活動助成要綱

補助の目的	市で承認された自主防災組織の育成、支援を行うことを目的とする。
補助の効果	助成金を支給することにより、地域の自主防災組織活動を促進させる。
補助対象事業の 具体的内容	自主防災組織が実施する自主防災活動経費に対し助成金を交付する。
対象経費及び補助率	(期間)設立年度から5年間 (対象経費)避難訓練等の自主防災活動経費 (補助率)補助対象経費の1/2 設立年度上限4万円、 2年目以降上限2万円 10年経過団体上限10万円
補助金額の根拠	現行要綱の補助金額を参照とする。
備考 1/2を超えて補助、設 立5年を超えて運営費 補助する理由 その他	
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	危機管理室		
補助金等の名称		佐倉市自主防災組織活動助成金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,600	新規団体 5件 既存団体 20件 10年経過団体 10件		676	新規団体 3件 既存団体 22件 10年経過団体 1件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	新規設立及び10年経過団体の申請が、計画を下回った。今後も、積極的に補助金の周知を行い、地域の自主防災活動の促進を図る。				
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,600	新規団体 5件 既存団体 20件 10年経過団体 10件		720	新規団体 6件 既存団体 19件 10年経過団体 1件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	既存団体及び10年経過団体の申請が、計画を下回った。今後も、積極的に補助金の周知を行い、地域の自主防災活動の促進を図る。				
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,600	新規団体 5件 既存団体 20件 10年経過団体 10件		708	新規団体 4件 既存団体 17件 (うち全額返納 1件) 10年経過団体 3件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	既存団体及び10年経過団体の申請が、計画を下回った。今後も、積極的に補助金の周知を行い、地域の自主防災活動の促進を図る。				
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,600	新規団体 5件 既存団体 20件 10年経過団体 10件		414	新規団体 1件 (うち返納あり 1件) 既存団体 15件 (うち返納あり 2件) 10年経過団体 3件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	既存団体及び10年経過団体の申請が、計画を下回った。今後も、積極的に補助金の周知を行い、地域の自主防災活動の促進を図る。				
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値		決算額 〔千円〕	各年度成果値
	1,600	新規団体 5件 既存団体 20件 10年経過団体 10件		562	新規団体 1件 既存団体 11件 10年経過団体 4件
	成果達成状況の分析と今後の方策				
	既存団体及び10年経過団体の申請が、計画を下回った。今後も、積極的に補助金の周知を行い、地域の自主防災活動の促進を図る。				
計画期間終了後の最終的な目標値	平成26年度末設立99団体、以降各年度5団体ごとの設立増加。				
計画期間終了後の最終的な成果値	令和元年度末設立115団体(年度平均約3団体の増加)				